

# 経営比較分析表／団体全体（令和6年度決算）

和歌山県 紀の川市

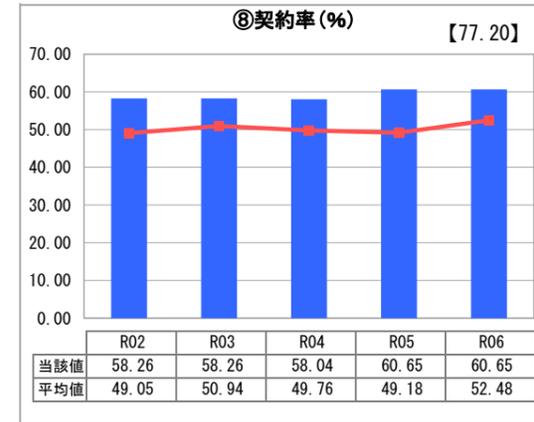
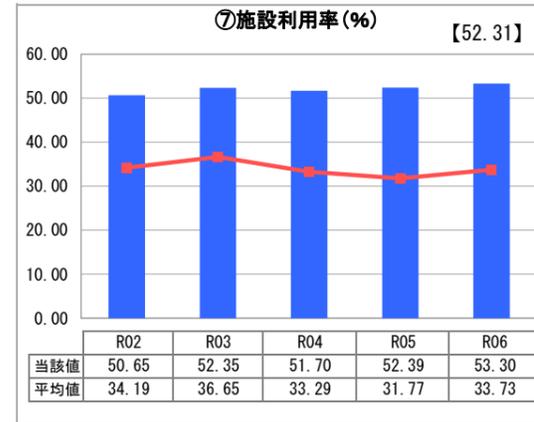
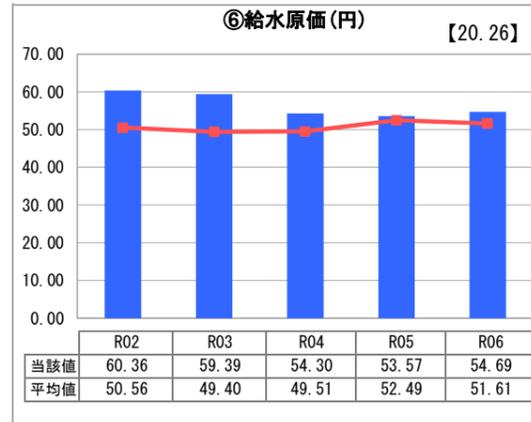
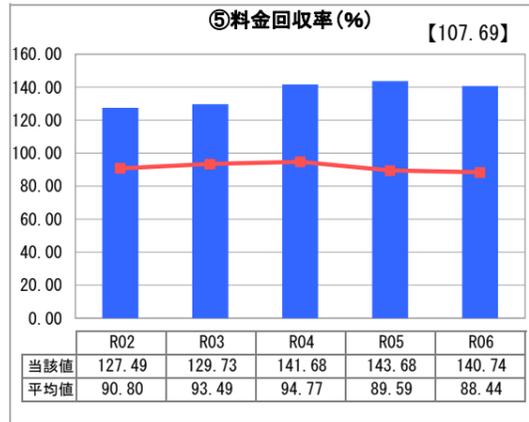
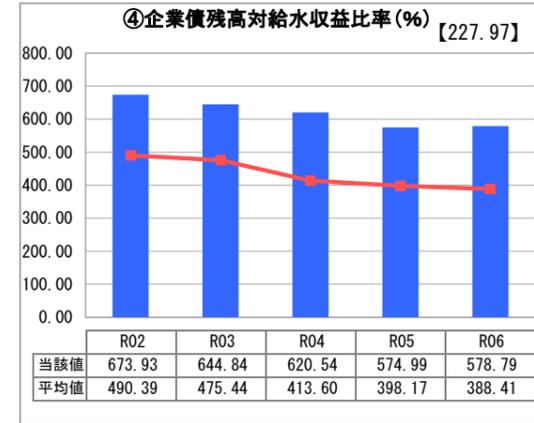
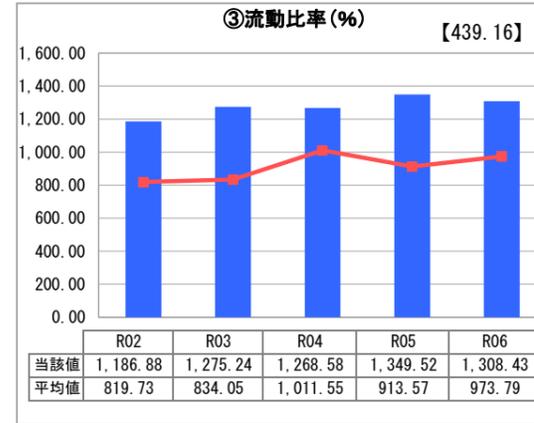
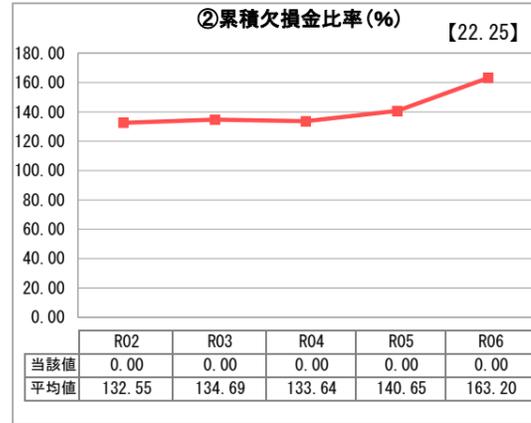
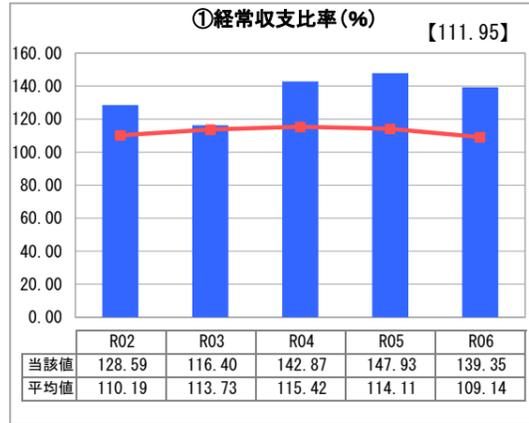
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m <sup>3</sup> /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m <sup>3</sup> )
法適用	工業用水道事業	2,300	極小規模	1	1,226
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m <sup>3</sup> /日)	管理者の情報	
-	52.8	9	1,395	非設置	

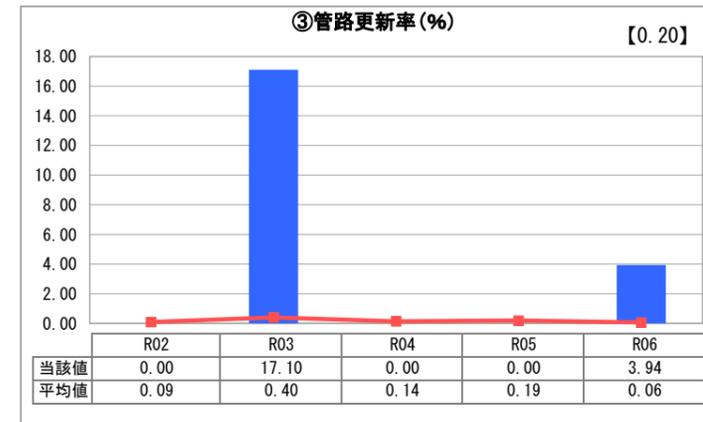
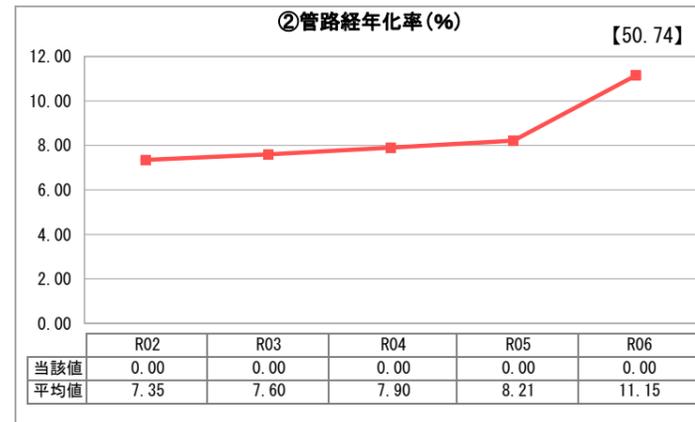
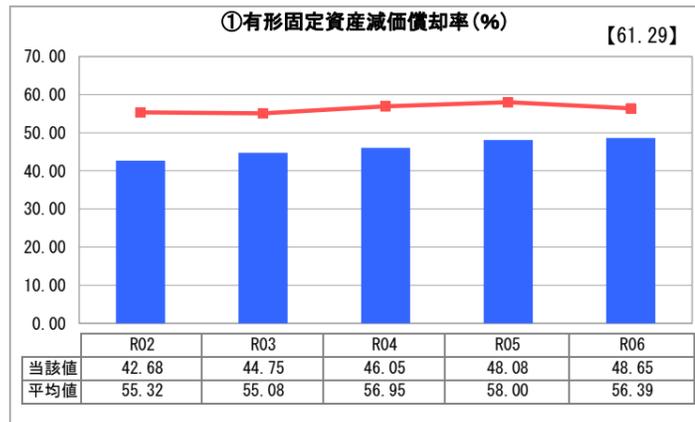
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率  
営業費用の増加などの影響により、前年度比8.58ポイント減となっています。例年に引き続き健全経営の水準とされる100%を上回っています。
- ② 累積欠損金比率は発生していません。
- ③ 流動比率  
現金預金などの流動資産は増加しているものの、流動負債も増加しているため前年度より41.09ポイント減少していますが、例年に引き続き100%を大きく上回っています。
- ④ 企業債残高対給水収益比率  
対前年度比3.8ポイント増となっており、全国・類似団体平均と比較すると企業債残高が多額となっています。今後、施設更新に備えた計画的な企業債の活用が必要です。
- ⑤ 料金回収率  
100%を上回っており、給水にかかる費用を給水収益で賄うことができています。
- ⑥ 給水原価  
経常費用の増加により、対前年度比1.12ポイント増となっていますが全国平均よりも高額となっています。
- ⑦ 施設利用率  
全国・類似団体平均よりも高い状況であるため、施設更新時に規模の見直しを検討します。
- ⑧ 契約率  
契約水量に変更がなかったため前年度と同値ですが、全国平均よりも低い状況です。

### 2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率  
全国・類似団体平均を下回っているものの、対前年度比0.57ポイント増であるため、今後計画的な更新が必要です。
- ② 管路経年比較  
当市は比較的新しい管路が多い状況ですが、一部の管路において、数年後には法定耐用年数を超える見込みであり、限られた財源の中で優先度を考慮し、計画的な更新を実施する必要があります。
- ③ 管路更新率  
現在法定耐用年数を超えた管路は無いものの、今年度は管路更新を行い全国・類似団体平均を上回っています。耐用年数の経過とともに、今後計画的な更新が必要となります。

### 全体総括

当市工業用水道事業は、安定的で持続可能な経営を維持するために、給水収益の確保が重要となるため、現在の契約水量の維持を図ります。また同時に経費削減などの更なる経営の合理化に努め、今後老朽化が進む施設・管路の更新事業や耐震事業等の財源を確保し、令和2年度に策定した経営戦略を基に、投資計画と財政計画の均衡を図りながら、持続可能な経営を目指します。